

ため池  
決壊想定  
イメージ

1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水

・・・亀裂や堤防前面の滑落など

2 大雨等でため池の水位低下が困難

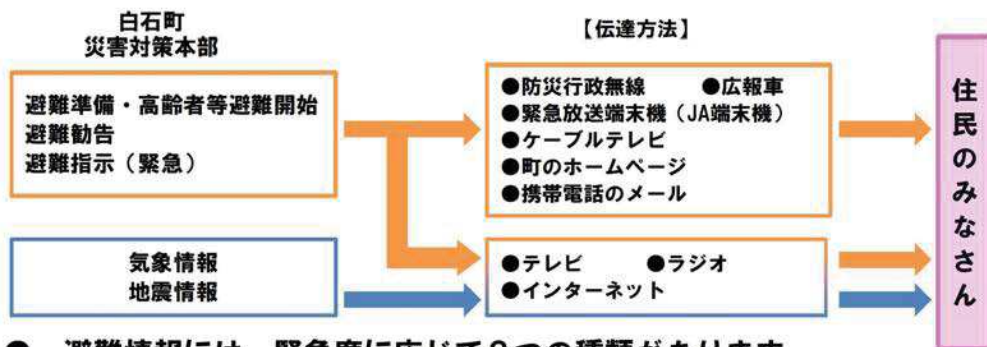
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

高台に避難してください！

正確な情報を入手しよう

● 避難情報や気象情報の伝達経路



● 避難情報には、緊急度に応じて3つの種類があります。

種類	発表時の状況	みなさんがとるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	●人的被害の発生する危険性が高まった状況です。	●避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めます。 ●通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。
避難勧告	●人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。	●各人は速やかにあらかじめ決めておいた避難行動をとります。
避難指示（緊急）	●人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。	●避難中の住民は直ちに避難を完了してください。 ●また避難していない住民は直ちに避難します。万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動をとります。

# 避難勧告等がだされたら <sup>すみ</sup>速やかに <sup>ひなん</sup>避難しよう



## ～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください

- 動きやすい服装で。
- 荷物は最小限。



- 足元に注意。



- 避難は徒歩で。



- 指示に従いましょう。



## 地震のあと

被災状況(防災無線の故障、広報車の通行不可、停電等)により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。



**災害発生時の避難情報入手における注意点**

## 大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

# 地域全体で災害への備えを

大災害が発生したとき、交通網の寸断などにより、防災機関が十分に対応できない恐れがあります。そんなときに頼りになるのが「地域ぐるみの協力体制」で、その中核になるのが自主防災組織です。自主防災組織に参加し、地域全体で災害に備えましょう。

## 自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に助け合って防災活動をする組織です。災害発生直後の救出活動などはもちろん、災害後の避難所の管理・運営など復興に向けても大きな力を発揮します。



## 自主防災組織の役割

### 平常時

災害に備えるための活動をします。

- 防災知識の普及・啓発  
防災訓練や講習会を通じて、正しい防災知識を地域住民に伝える。
- 地域内の安全点検  
地域内の危険箇所や問題点を洗い出し、改善する。
- 防災訓練  
いざというときのために、地域一丸となって訓練を重ねる。
- 防災資機材の整備  
ロープ、バール、はさみ、ジャッキ、スコップなど災害時に必要な資機材を準備する。



### 災害時

人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。

- 初期消火  
出火防止や初期消火活動をする。
- 避難誘導  
住民を避難場所など安全な場所に誘導する。
- 救出・救助  
負傷者などを救出し、応急手当をする。
- 情報の収集・伝達  
公的機関と連絡を取り合い、情報を住民に伝達する。
- 避難所の管理・運営  
避難所で給食・給水活動・清掃などをする。



佐賀県「防災ネットあんあん」を使って、

## 白石町から防災情報をメール配信しています

佐賀県「防災ネットあんあん」とは

県民の皆さんに防災情報などを、メールでお知らせするシステムで、利用するには登録が必要です。

登録方法（新規登録）

携帯電話またはパソコンから<http://esam.jp>へ直接アクセスするか、右図のQRコードを読み取ることで登録サイトへアクセスすることができます。画面に従って、必要な情報を選択し、注「市町情報の選択」で「白石町」を選んで下さい。



QRコード

注：登録操作画面

市町情報を受信する場合は選択して下さい。

受け取りたい地域(市町名)を選択して下さい。

鳥栖市

武雄市

鹿島市

白石町



白石町をチェック！！